

社会福祉法人聖ヒルダ会を支援する チャリティー講演会とコンサート

# Grief Care

## グリーフケア

【人生に於ける悲しみと喜びを理解するために】



\* 講演 / 高木 慶子

(上智大学グリーフケア研究所特任所長・特任教授)

\* 演奏 / パイプオルガン：三浦 はつみ

(横浜みなとみらいホールオーガニスト)

独唱 (ソプラノ)：古関 尚子



# 2019.10.9(水) 13:30開演

## 神奈川県民ホール 小ホール

横浜市中区山下町3-1

電話：045-662-5901

日本大通り駅(東急東横線直通/みなとみらい線)下車、3番出口より徒歩8分

関内駅(JR根岸線/横浜市営地下鉄)下車、徒歩15分

市営バス 横浜駅東口・桜木町から(8、58、20、2、109系統)芸術劇場・NHK前下車、徒歩2分 (26系統)「大栈橋」下車、徒歩1分

演奏  
曲目

J.Sバッハ ピエス・ドルグ (オルガンソロ)

V.ベリーニ オペラ「清教徒」より

あなたの優しい声が (ソプラノ&オルガン) 他

チケット

3,000円(消費税込み)

メール:kouenkai@mg.scn-net.ne.jp

電話:090-6182-0347

主催：聖ヒルダ会ベタニヤ・ホーム後援会



# 社会福祉法人聖ヒルダ会を支援する チャリティー講演会とコンサート

## Grief Care グリーフケア 【人生に於ける悲しみと喜びを理解するために】



高木 慶子

熊本県生まれ。聖心女子大学文学部心理学科卒業。上智大学神学部修士課程終了。博士(宗教文化)。現在、上智大学グリーフケア研究所特任所長。「生と死を考える会全国協議会」会長。「兵庫・生と死を考える会」会長。援助修道会会員。二十数年来、ターミナル(終末期)にある人々のスピリチュアルケア、及び悲嘆にある人々の心のケアに携わる一方、学校教育現場で使用できる「生と死の教育」カリキュラムビデオを製作。幅広い分野で全国的にテレビや講演会で活躍中。著書として、「喪失体験と悲嘆—阪神淡路大震災で子どもと死別した34人の母親の言葉」(医学書院)、「大切な人をなくすということ」(PHP出版)、「悲しみの乗り越え方」(角川書店)、「悲しんでいい〜大災害とグリーフケア」(NHK出版)、「それでも誰かが支えてくれる」(大和出版)、「それでも人は生かされている」(PHP研究所)など多数。



三浦 はつみ

東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻卒業。ボストン・ニューイングランド音楽院にてアーティストディプロマ取得。オルガンを秋元道雄、廣野嗣雄、島田麗子、菊池みち子、G・ボヴェ、林佑子の各氏に師事した。現在、フェリス女学院大学非常勤講師、日本聖公会横浜聖アンデレ教会オルガニスト。横浜みなとみらいホールでは、1998年開館以来、ホール・オルガニストを務め、オルガン・1ドルコンサート、こどものためのワークショップなどの企画、ホール・オルガニスト・インターンシップなど育成プログラムにも力を入れている。平成19年度横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。



古関 尚子

武蔵野音楽大学音楽学部声楽科卒業。林源二郎、浦野りせ子、東敦子の諸氏に師事。1977年、第17回コンセール・アミ声楽部門第1位、並びに読売新聞社賞受賞。同年、長門美保歌劇団公演ドボルジャークの歌劇「ルサルカ」第1の妖精役でデビュー。1992年サントリーホールにて、イタリアバロック時代の作品によるリサイタルを開催、高い評価を得る。1996年南青山鑄仙会能楽堂に於いて、歌劇「蝶々夫人」の歌唱と演技に対し第8回武智鐵二賞大賞受賞。その後、フィレンツェにて、「椿姫」のアリアを歌う。同年、武蔵野音楽大学第1回インターナショナルサマースクールに於いてパオロ・モンタルソロに師事。2001年「日本の音楽展」「ソレイユ・ジョイントリサイタル」他、3回に渡り組曲「残照」全5曲を歌っている。

### <後 援>

教会：横浜聖アンデレ教会、横浜山手聖公会、横浜聖クリストファー教会、川崎聖パウロ教会、林間聖バルナバ教会、松戸聖パウロ教会、八日市場聖三一教会、藤沢聖マルコ教会、鎌倉聖ミカエル教会、逗子聖ペテロ教会、平塚聖マリヤ教会、小田原聖十字教会、市川聖マリヤ教会、千葉復活教会、茂原昇天教会、銚子諸聖徒教会、厚木聖ヨハネ教会、秦野聖ルカ教会、館山聖アンデレ教会、聖アンデレ教会、聖マーガレット教会、三光教会、聖パウロ教会、目白聖公会、東京聖三一教会、東京聖十字教会

団体：香蘭女学校、香蘭女学校校友会、立教女学院小学校、横浜立教会、聖路加国際大学、日本聖徒アンデレ同胞会、公益財団法人キープ協会、一粒の麦の会@東京、社会福祉法人エリザベス・サンダース・ホーム、日本聖公会社会福祉連盟、社会福祉法人滝乃川学園

### <協 賛>

(株)郵生、(株)相日防災

主催：聖ヒルダ会ベタニヤ・ホーム後援会